

令和8年度「ひめとく」(姫路特別支援学校) グランドデザイン

【教育方針】

障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を「共有・共感・共鳴」し、連携・協働、切磋琢磨することで「共創」・「共育」(共に育つ)ができる学校づくりを実現する。

連続性のある多様な学びの場における教育の充実
(縦の連携)

【合理的配慮】

・必要な合理歴配慮について本人・保護者と合意形成を図る。

【交流及び共同学習】

・副籍を生かした居住地校交流(直接的・間接的交流等)の充実
・近隣校との交流及び共同学習(直接的・間接的交流等)の充実

【一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実】

・質の高い個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成・活用

【キャリア教育】

・キャリア発達の視点を取り入れた一貫性のある系統的な教育課程を編成する。

・企業や地域と連携した現場実習、技能検定等のキャリア体験活動や外部人材の参画によるキャリア形成の必要な支援を行う。

【ICT 機器の活用】

ICT 機器を積極的かつ効果的に活用し、授業内容の充実や指導の工夫・改善を図る。

【めざす児童生徒像】

○「自分らしく生き、社会で共に生きる」児童生徒

- ・自分も他者も大切にでき、思いやりのある心豊かな児童生徒
- ・課題にチャレンジし、工夫や協力しながら、やり抜くことができる児童生徒
- ・協力し合い、助け合い、認め合う児童生徒
- ・学びや経験を振り返り、気づきや分かったことを次に生かせる児童生徒
- ・自分のキャリアを主体的に自分で選んで決定できる児童生徒
- ・心通うあいさつができ、感謝の気持ちを育む児童生徒
- ・仲間とわくわくと安全に楽しみながら活動する児童生徒

【学校教育目標】

- ・児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲・態度と力を高め、自分らしく生きる力を育む。
- ・児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲・態度を高め、社会で共に生きる力を育む。

連携による切れ目ない相談・支援体制の充実
(横の連携)

【関係機関との連携】

- ・学校園等教育機関／保健・福祉機関／医療機関／労働機関等の関係機関との連携を深め、就学前から卒業まで一貫した必要な支援を行う。
- ・地域のセンター的機能の発揮を促進する。
- ・地域社会と連携・協働した「ひめとくコミュニティスクール」を推進し、障害のある子どもたちが自立と社会参加できる共生社会の形成に努める。
- ・オープンスクール、ホームページの充実、「心のバリアフリー推進事業」等を通じて、本校教育活動に対する理解を図るとともに、開かれた学校づくりを推進する。

【研究テーマ】

「できた」を感じる活動と個々の児童生徒への支援
～教科の授業づくり～

重症児の理解と支援の充実

(ルルド訪問学級)

姫路別所高等学校とのインクルーシブ教育の推進

働く意欲とスキルを高め、生活力を培うキャリア教育の充実 (分教室)

